

山行記録

日 時	2020年11月11～12日
山 (ルート)	岩手山 馬返し→九合目 (泊) →網張
メンバー	広野孝男、石田理一郎 (羅臼山岳会)

11月11日 雫石→馬返し→九合目小屋泊

11月12日 岩手山頂 九合目→鬼ヶ城→網張

11月11日

8:00 雫石発、網張に下りる予定で、カミさんに送ってもらう。駐車場に車は見当たらない。
8:50 馬返し発。うっすらと雪が積もっているが、夏道を辿る。四合目で旧道に出る。五合目までのガラ場は、雪に覆われルートが分かりにくい。五合目～七合目にかけては、吹きだまりがあったりしたが、ツボ足で登る。七合目でワカンを着ける。慣れないラッセルの疲労と寒気のせいか、太ももあたりがつる。九合目までも夏道を辿る。所々に吹きだまりがあった。14:15 九合目着。御神坂コースから日帰りしたと思われる一人分のトレースがあった。冬期入口が少し開いていて、雪が少し吹き込んでいた。10月11日に設置したフックのロープが緩み、何故かつなぎ直されていた。他に誰もいないので、1階に寝ることにする。シュラフはスリーシーズン用だったので、毛布を使わせてもらう。天日干しされた毛布は気持ちよく、ありがたい。羅臼から来た友は、小屋、トイレがきれいなことにしきりに感心していた。

16: 頃に思いがけず登山者が一人入ってくる。トレースがあり、助かったと。千葉県から来たとのこと。

夜中、石田さんの枕元でカサカサ音がしていたと言う。翌日、行動食のパンを食べようとして、何者かにかじられていたことが分かる。小屋の中にネズミ類が侵入していたとは？



五合目の上部 (ツボ足)



吹き込んだ雪

11月12日

5時頃窓から顔を出すと、大熊座、北極星が見えた。お茶を飲み、先ず頂上に行くことにする。ツボ足で夏道を辿る。無風、快晴で東の空が明るくなって来る。6:11 頂上着。丁度早池峰の左側から陽が登って来る。うっすらと雲がかかっていたが、重茂半島、太平洋が見えそうだった。お鉢を一回りする。雪に縁どられた焼け走り溶岩流が黒々と目立った。

小屋に戻り、朝食後に8:10に出発する。冬期入口のフックのロープをつなぎ直す。上天気なので鬼ヶ城経由とする。53年前の11月12日は、奇しくも岩大のワングル遭難で3人が亡くなった日だ。鬼ヶ城からは鳥海山、秋田駒、和賀連峰、三ツ石～八幡平、八甲田の山々が見えた。夏道を辿るが所々に吹きだまりがあったり、雪の重みで垂れ下がったハイマツ、アオモリトドマツの枝が行く手をさえぎる。切通しまで2時間程かかる。姥倉、犬倉へと夏道を辿るが、ずーっと、オコジョ、テン、キツネ、ウサギ、それにヤマドリ足跡があった。積雪の中途半端なこの時季は、生き物たちも夏道を使うのか。道先案内をしてもらっているようだった。元湯展望台に人影が見え、スキー場ゲレンデを登る人が2～3人いた。スキー場を下るときは、積もった雪が解けだして滑りやすかった。14時頃にビジターセンターに着き、温泉で疲れをいやした。



鬼ヶ城

